

冬休みの生活について

今年も子供たちが楽しみにしている冬休みが間もなくやってきます。13日間の短い冬休みですが、年末や年始という1年の節目に当たり、子どもたちの生活の場、教育の場は、学校から家庭へと移ります。人とのかかわりが多くなり、伝統や風習等を学ぶよい機会ともなります。

寒さに負けず、安全で楽しい冬休みとなりますよう、下記の点につきまして御指導と御協力をお願いいたします。

家族と触れ合う冬休み

〈期間〉 令和4年12月24日（土）～ 令和5年1月5日（木）

〈こんな冬休みに〉

家庭や地域を中心とした生活の中で、自分のめあてや計画に向かって最後までやり遂げる自主的な生活態度や、自律的な生活習慣を身につけさせましょう。

1 規則正しい生活をさせ、やるべきことは計画的に取り組めるように励ましと見届けをしてください。

・食事をきちんととる

育ち盛りの子供にとって、食事をきちんととることは心と体の発達のためにとっても重要です。バランスに気をつけ、3食きちんと決まった時刻に食べるようにさせましょう。

規則正しい食事が健康を支えます。（親子で食事をとることも大切です）

・早寝、早起きをする

夜遅くまで起きていることは、子供の心にも体にも悪影響を及ぼします。年末年始といえども、度を越した夜更かしは控えさせてください。

2 生活の約束を守らせ、安全な生活をさせてください。

◎児童用のプリントを家族の皆さんで確認し、子供たちを家族ぐるみ・地域ぐるみで支え、子供たちが約束を守り安全な生活ができるようにお願いします。

- ・交通安全、「飛び出しをしない」「自転車に乗る時は、必ずヘルメットをかぶる」ということを厳守させてください。
- ・自分の身は自分で守るために、「知らない人には絶対ついていかない」「ゲームセンターやカラオケなどに、子供だけで行かせない」「だれと・どこへ・いつ帰るかを伝えて出掛け、4時には必ず帰る」ということを必ず守らせてください。
- ・友達の家には泊まらない。友達同士で泊まり合うことはやめさせてください。
- ・パソコンやスマートフォンの管理に気をつけてください。特にインターネットを通してのゲームへの課金や動画視聴は、保護者の指導・管理を徹底してください（危険がいっぱいです）。また年齢制限のあるアプリなどの利用についても注意をお願いします。
- ・火気の管理を徹底し、＜火遊び＞を絶対にさせない。
- ・お年玉等、お金の使い方等に注意してください。

「やるとよいこと」・「やってもよいこと」・「やってはいけないこと」をきちんと教えてください。「子供に任せる」のではなく「大人が教える」ことも大切です。

3 家庭や地域の一員としての自覚をもたせてください。

・手伝いなど、家族の一員として自分の仕事をもたせる

「ありがとう。助かるよ。」の言葉が、子供に存在感を味わわせます。

・子ども会や地区の行事などに参加させる

地域の方とのふれ合いを大切にさせましょう。

※万が一、事故や問題が生じた場合は、**学校にも**連絡ください。

学校(8:00～16:30) 5 2 - 0 5 5 8 閉庁時(12/29～1/3 学校携帯へ)